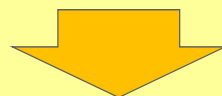


■ 2012年3月期第2四半期業績予想の修正について

2011年9月29日
北海道電力株式会社

■業績予想の修正について

当期の業績予想については、泊発電所1・2号機の定期検査における発電再開時期を見通すことが難しく、本州方面への電力融通や火力発電所の燃料焼き増しに係る収入・費用を合理的に算定できないことから、前回公表において、第2四半期累計期間、通期ともに未定としていた。



- 第2四半期累計期間について、泊発電所1号機の定期検査期間の延長をはじめとする9月末までの需給状況などを踏まえ、業績予想を修正。
- 通期業績予想については、引き続き未定。

■業績予想の修正 (第2四半期)

(単位：億kWh, 億円程度)

			4月公表 (A)	7月公表 (B)	今回公表 (C)	増減 (C)-(A)	(参考) 前年同期実績
販売電力量	特定規模 需要以外	電灯	54	54	53	△1	55
		電力	9	9	9	0	10
	特定規模需要		88	88	86	△2	89
	計		151	151	148	△3	154

連結	売上高	2,770	未 定	3,020	250	2,686
	営業利益	200		170	△30	220
	経常利益	130		100	△30	155
	四半期純利益	80		50	△30	35

単独	売上高	2,690	未 定	2,940	250	2,604
	営業利益	190		160	△30	217
	経常利益	120		90	△30	151
	四半期純利益	70		40	△30	33

【主要諸元】

為替レート (円/\$)	85程度		80程度	△5程度	90
原油CIF価格 (\$/bl)	110程度		114程度	4程度	78.4

■ 経常利益の好転・悪化要因(第2四半期) 対4月公表



【4月見通し】 2011年度第2四半期 経常利益 連結 130億円程度／単独 120億円程度

好 転 要 因		悪 化 要 因	
国内炭の活用 (消費量：20万t程度 → 40万t程度)	40億円程度	泊発電所1号機定期検査期間の 延長による燃料費の増	150億円程度
豊水による水力発電量の増加 (出水率：100% → 116%程度)	30億円程度		
その他	50億円程度		
計 120億円程度		計 150億円程度	
差し引き Δ 30億円程度			

【今回見通し】 2011年度第2四半期 経常利益 連結 100億円程度／単独 90億円程度

■ 経常利益の好転・悪化要因(第2四半期) 対前年同期



【2010年度】第2四半期 経常利益 連結 155億円／単独 151億円

好転要因

石炭火力稼働増 100億円程度
(国内炭火力 40など)

その他 30億円程度

計 130億円程度

悪化要因

原子力発電量の減少 190億円程度
(泊発電所1号機定期検査日数の増など)

計 190億円程度

差し引き Δ 60億円程度

【2011年度】第2四半期 経常利益 連結 100億円程度／単独 90億円程度

本資料は2011年9月28日現在のデータに基づいて作成されております。また、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料には将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものです。将来の業績は経営環境に関する前提条件の変化などに伴い変化することにご留意ください。また、あくまで当社の経営内容に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。本資料の利用については他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行ってください。また、本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

お問い合わせ先

北海道電力株式会社 企画部 I Rグループ
〒060-8677 札幌市中央区大通東1丁目2番地
URL: <http://www.hepco.co.jp>